

松戸市議団ニュース

日本共産党松戸市議会議員団

《連絡先》松戸市役所控室

電話 (366) 7403

F A X (366) 5915

e-mail: jcpmatsudo@earth.ocn.ne.jp

6月議会が終わりました

◆閉会にあたって

6月議会は、子ども・子育て新制度や新教育委員会制度、介護医療新制度が4月から開始されているもとの最初の議会となりました。安倍政権の暴走とのたかい、とりわけ「戦争法案」を許さないたたかいのまっただ中で開かれ、我が党は安倍政権の暴走から市民の暮らし・命・平和を守るために奮闘しました。一般質問では5人全員が質問に立ち、介護保険制度・保育事業の現状・市の教育大綱など新制度に関わる問題をはじめ、水害対策・交通政策・自衛官募集問題・子どもの貧困問題、国保や生活保護、暮らしに関わる地域の要求、県議選での市長による自民党候補応援問題など合わせて47項目について市政の問題点をただし、公約実現に奮闘しました。

一方で、保守系議員からは「松戸市は近隣と比べて生活保護が多すぎる」などの質問や、保育所民営化推進の質問に対して市が前のめりの積極的な答弁をするなど、今後の論戦や運動で警戒が必要と思われる場面がありました。また、教職員組合から出された「30人以下学級を求める請願」など4本の請願では党市議団は紹介議員として採択に力を尽くしました。

お忙しい中、傍聴に足をお運びくださった方々に改めてお礼を申し上げます。

国会会期が戦後最長の95日間延長され、安倍政権は何が何でも戦争法案や労働者派遣法改悪案を成立させようとしています。あついたたかいの夏が待っています。引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

2015年6月25日

日本共産党松戸市議団



■自民党候補応援に

市長車使用で市長を追及!

党市議団の調査で、4月の県議選で自民党候補の出陣式に市長が市長車で出席したことが明らかに。公務でしか使えない市長車を選挙応援(私用)で利用したことについて認識をたしました。

担当部長は「公務と私用が混在する場合にはあり得る」と答弁。さらに「当日は他に公務はなく、出陣式にのみ使われたのではないか」との指摘には「公務はあったが、急遽キャンセルした」と苦しい答弁に終始しました。

市長は、自民党候補を応援した事実についても「個人的なことは答えない」と答弁に立ちませんでした。無責任な態度に、市民からも非難の声が上がっています。

《請願》◆市民からの請願に

反対理由も述べずに不採択!



学校の教育現場の改善を求め教職員組合から数千筆の署名と一緒に出される請願の数年にわたる審査の中で、トイレの清掃や洋式化、教室温度測定とエアコン設置の必要性、教員の残業と多忙化の実態などが明らかに。議員と教育委員会が学校現場の状況を共有し、この間多くの成果と前進がありました。

今議会では4本の請願が出され、①「30人以下の少人数学級」に対しては、松戸市も「少人数学級に反対するものではない」と答弁。小学1年で今年度は67.5%と昨年より5%減。小学校全体でも52.7%と1%減になっています。

②「特別のニーズを持つ子どもたちのための支援員増員」に対しては、今年度も2名増の24人が予算化され、今後もこのような子どもは増える見込みであり増員が必要で



対しては、消費税増税の影響などもあつて1人2万円とされている目安を超えた学校がいくつも生じており、子どもの貧困問題からも補助が必要で。④「教育施設整備の求め」に対しては、昨年度は前年より55件増の3420件の修繕要望があり全てに対応しているものの、あくまで応急処置であり屋上防水や外壁改修、塗装の剥げやプールのひび割れなどに対する根本的な改修工事は多くが残されたままの状況です。「ランドセルがきちんと入らない古い木製ロッカーなどについては、老朽化対策・長寿命化計画の開始を待たずすぐにでも対応を」と求めました。請願を審査した教育環境常任委員会では、請願の紹介議員に対して、他の会派からは申し合わせたように全く質問がなく、教育委員会に対しても申し訳程度に聞くような質問のみ。さらに、討論においても理由も述べないまま不採択にするという、市民の代弁者とは到底考えられないような質疑となりました。共産党は請願の採択を強く訴えましたが不採択となりました。

